

捨てられてしまうペットボトルキャップをワクチンに ～私たちにできる SDGs～

主催	加古川市立野口北小学校 児童会
日時	令和7年2月25日
場所	野口北小学校 児童会室（教員が姫路環境開発へ持ち込む予定）
内容	普段は捨てられてしまうペットボトルのキャップは、ペレットに変えることでプラスチック用品として再利用できる。また、リサイクルでの売却益は、ワクチンとして世界に寄付される。 6年生は、総合的な学習で SDGs の学習をしている時に、環境のため、世界のために何か自分たちでできることはないか考えました。その際にエコキャップ運動を通じて、SDGs に貢献できると知り、学年でエコキャップを収集しようという考えになりました。 6年生から始まったエコキャップ運動は、さらに計画委員会が全校生へ呼びかけることで活性化し、1年間でごみ袋約20袋分近くを集めることができました。 その集めたエコキャップを、年度末には姫路環境開発へ持ち込み、少しでも SDGs 活動で世界に貢献したいと思っています。 （ 初めて ）
対象（参加者）	野口北小学校 全校児童
定員	641名
参加費	無
申込先・方法	連絡先:野口北小学校(079-426-8085) 担 当:教頭、福田(児童会担当)
目的・背景 その他	日本で捨てられてしまうものから SDGs で世界に貢献したい
市ホームページ	掲載していない
広報かこがわ	掲載していない